



YMNだより

平成27年6月20日 第17号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN 代表 大津 清)
山形電波工業高等学校内 YMN 事務局

山形県工業会通常総会で講演

去る平成27年5月14日(木)午後4時20分~午後5時50分に、ホテルメトロポリタン山形において行われた山形県工業会平成27年度通常総会講演会で講演しました。テーマは「時代を担う子どもたちに3Dプリンターを贈ろう!」で、YMNの取り組みを紹介しました。山形県工業会の皆様にYMNの取り組みを知っていただく機会となり、ありがたく存じます。3Dプリンターの展示も行いました。

YMNの大きなねらいに、私たちYMNの取り組みを知っていただき、一緒に協働していただくことがあります。YMNの活動を「わいわいがやがや 愉快地 楽しく 面白く」やっていきたいと思えます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

山形新聞2015年5月15日付けに新聞記事が掲載されました。



「縄文の女神」光のオブジェを県立博物館に寄贈

去る平成27年5月31日(日)午前9時より、山形県立博物館で「縄文の女神」光のオブジェの贈呈式を行いました。山形県立村山産業高等学校の生徒がアクリルミラーをレーザーカットで「縄文の女神」を製作し、フルカラー有機ELパネル(オーデリック株式会社、MCパイオニアOLEDライティング株式会社提供、制御基板は那須電機株式会社提供)で照らしたケースを製作しました。これまでの「縄文の女神」とは趣が異なる美しいオブジェが完成しました。

やまがたメイカーズネットワークが企画し、教育界と産業界が連携して製作して県立博物館に寄贈したものです。贈呈後、午前10時より「パーパークラフトで縄文の女神をつくろう」のイベントがありました。

これも高校生が設計し、イベントの指導を行いました。関係者の皆様、ご協力をいただきましてありがとうございました。

山形新聞2015年6月1日付けに新聞記事が掲載されました。



「2015年版ものづくり白書」にYMNの取り組みが掲載

平成27年6月9日(火)に「2015年版ものづくり白書」(p.269)に、YMNの取り組みが掲載されました。

ものづくり白書とは、ものづくり基盤技術振興基本法(平成11年法律第2号)第8条に基づく、政府がものづくり基盤技術の振興に関して講じた施策(「平成26年度ものづくり基盤技術の振興施策」)に関する報告書です。

例年、経済産業省・厚生労働省・文部科学省が共同で作成作業を行い、発行しているものです。

YMNの取り組みが全国に紹介され、大変うれしく存じます。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

下記の経済産業省のWebでご覧になれます。

http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2015/honbun_pdf/pdf/honbun03_01_00.pdf

コラム

地域におけるものづくり人材育成の取組 -山形県・岩手県等-

-山形県での取組-

2014年から、教育界、産業界、関係機関等の有志が連携し、「やまがたメイカーズネットワーク(YMN)」を組織し、「県内の小・中学校、特別支援学校、高等学校に県産部材を活用した手作り3Dプリンタを導入し、教育活動への活用や変化の激しい時代を生き抜くために必要な能力を身に付けさせるための教育活動を展開し、やまがたの次代を担う人材を育成する。」ことを目的としたプロジェクトの推進を図っている。

このプロジェクトでは、県内にある11校の工業科を設置する高等学校へ組立型3Dプリンタの導入、工業科を設置する高等学校によるものづくり体験教室や出前授業等の地域貢献活動の実施、モータやガイド用鋼材などの県内企業産の部材を活用した教育用3Dプリンタの開発、教育用3Dプリンタの小・中・高等学校・特別支援学校への導入、グループでの協同製作など創造的な教育活動の実践などの研究が行われている。

また、本事業では、工業科の教員が、専門性を深め実践的指導力の向上を図るため、長期休業期間等を活用して教育センターなどの関係機関等が主催する研修会に参加し、関連する技術・技能について研修する取組を実施している。



写真:教育用3Dプリンタを活用しての探究活動(山形県立豊岡工業高等学校)